

たいらの きよもり さ えき かげひろ  
『平 清盛と佐伯 景弘』

## 佐伯景弘(さえきかげひろ)とは？

今からおよそ800年前、平安時代の終わりごろ、私たちの住む佐伯区は、安芸国(あきのくに)の西の端、佐伯郡と呼ばれる地域にありました。郡の長、佐伯郡司としてこの地域を支配していたのが佐伯氏です。郡の役所は、現在の佐伯区八幡地区にあったと言われていました。

安芸守(あきのかみ=安芸の国の首長)となった平清盛が厳島神社への信仰を深めるころ、厳島神社の神主であり、佐伯郡司でもあったのが「佐伯景弘(さえきかげひろ)」です。

清盛と親交を深めた景弘は、多くの荘園を献上し、その財政を支えることで、清盛による厳島神社の修復を実現し、現在のような壮大な厳島神社を造りあげたのでした。

### 地域。誇り、愛着、そして絆！

平成24年1月8日(日)から、NHK大河ドラマ「平清盛」の放映が始まりました。このドラマに、佐伯区にゆかりの深い佐伯景弘が登場します。大河ドラマ「平清盛」、そして佐伯区ゆかりの「佐伯景弘」。

これをきっかけに、自然、歴史、文化など、自分の住む「まち」のすばらしさを再認識し、誇りと愛着を持って、地域のことをみんなで考えてみませんか。そして、人と人との絆を大切に、住民が互いに支えあう地域をつくりませんか。

人と人との絆を結ぶ、それが「民生委員・児童委員」です。  
介護、子育て、健康、医療など、生活の中で気になっていることがあったら、お気軽にご相談ください。

### 佐伯区民生委員児童委員協議会



「ひろしま清盛」  
(広島県作成)



佐伯区イメージキャラクター  
「さえき景弘くん」